

公益財団法人徳間記念アニメーション文化財団

平成 29 年度 事業計画書

(平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日まで)

1. アニメーション文化に関する展覧会事業の企画及び運営（1号事業関係）

(1) 常設展示（平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日）

平成 29 年度についても、アニメーションの仕組みから、アニメーション映画の制作過程やスタジオの雰囲気などを実際の作品、展示物等で紹介します。昨年度と同様に適宜、各種の改良、展示物の追加を行なう予定です。

(2) 企画展示（その 1）「猫バスにのって ジブリの森へ展」

（平成 29 年 4 月 1 日～平成 29 年 5 月 14 日）

平成 28 年度に引き続き、「猫バスにのって ジブリの森へ展」の展示を行ないます。

(3) 企画展示（その 2）「食べるを描く。」展（仮称）

期 間：平成 29 年 5 月 27 日～平成 30 年 5 月（予定）

場 所：企画展示室（133 ㎡）

協 賛：株式会社日清製粉グループ本社、丸紅新電力株式会社

監 修：宮崎吾朗

企画概要：

スタジオジブリの映画を観た人の記憶にいつまでも刻まれているものに食事のシーンがあります。「千と千尋の神隠し」の“おにぎり”や「天空の城ラピュタ」の“目玉焼き”などは、自分の身の回りにおいて特別の食べ物ではないのですが、なぜこんなにも見る人の心を掴んで離さないのでしょうか。各映画作品の記憶に残る“食のシーン”を取り上げて、どのようにして魅力あるシーンが描かれたのか、その秘密に迫ろうという企画展示です。

また、第二室では、“作るしぐさ”に着目し、「となりのトトロ」の草壁家の台所と、「天空の城ラピュタ」のタイガーマス号のキッチンを実物大で再現します。“サツキ”や“シータ”が大人顔負けで調理をこなしているシーンに込められた、作り手の思いが感じられる展示になることでしょう。

“食のシーン”を描くことは、背景となる文化をも描くこととなります。さまざまな知識や好奇心が映画を豊かにしていることを解説したコーナーを設けて、“食のシーン”についての理解をさらに深められる展示を目指します。

(4) 映像展示室における短編アニメーション映画の上映

待望の新作映画「毛虫のボロ」が今年度に完成する予定です。これまで上映してきた短編作品9作品とともに、スケジュールを再編成して上映いたします。

「くじらとり」	(原作 中川李枝子・山脇百合子	上映時間約 16分)
「コロの大きなぼ」	(原作 宮崎駿	上映時間約 15分)
「めいとこねこバス」	(原作 宮崎駿	上映時間約 15分)
「やどさがし」	(原作 宮崎駿	上映時間約 12分)
「水グモもんもん」	(原作 宮崎駿	上映時間約 15分)
「星をかった日」	(原作 井上直久	上映時間約 16分)
「ちゅうずもう」	(原作 日本民話より	上映時間約 13分)
「パン種とタマゴ姫」	(原作 宮崎駿	上映時間約 12分)
「たからさがし」	(原作 中川李枝子・山脇百合子	上映時間約 9分)
「毛虫のボロ」	(原作 宮崎駿	上映時間約 14分)

(5) その他

平成29年9月30日(土)及び10月1日(日)の2日間に「三鷹市民デー」及び「近隣市民デー」を設定し、三鷹市民及び近隣市民を無料招待します。

また、井の頭恩賜公園開園100周年の記念事業の一環として、平成29年5月5日(金・祝)に三鷹の森フェスティバルを、三鷹市や特定非営利活動法人みたか都市観光協会と共催で開催します。

2. アニメーション作品及びその資料の収集、保管及び展示並びにアニメーション文化に関する調査研究、普及啓発及び活動の奨励(2号事業関係)

(1) アニメーション作品及びアニメーションに関する資料の収集、保管及び展示

前年度に引き続き、優れた国内外のアニメーション作品および資料等の収集を行ない、保有資料に関する資料台帳の整備を行なうとともにデータ化を進めます。同時に、保有資料に関する長期保管のための保護処理・修復等の措置も行ないます。

現在、当財団の基本財産である収蔵作品及びスタジオジブリから寄託を受けた資料を中心に、約33,000点の作品資料が保管のための処置と整理のためのデータ入力を終えています。今期については、「かぐや姫の物語」「思い出のマーニー」の作品資料の整理保管作業を行なうと共に、より安全な収蔵方法への見直しと、検索しやすいデータベースの改良に取り組みます。

また、増加傾向にある資料貸出希望に対し、貸出先博物館への学芸員の同行を含む、展示環境向上への努力、複製制作の充実による一次資料の保護策など、資料の活用と保護の両観点から資料取扱いルールの再構築を目指します。

(2) アニメーション文化に関する調査研究

アニメーション作家、作品についての基礎的調査については、今期も引き続き継続いたします。日本のアニメーション・スタジオ史に関する調査研究については、日本におけるアニメーションの誕生から1980年代初頭のスタジオジブリ設立までの全体的通史をはじめ、特定のスタジオや人物、ジャンル等、適宜対象を絞り、文献調査や関係者への聞き取り調査等を行いません。

(3) アニメーション文化調査研究活動助成制度

アニメーション文化に関する調査研究活動に対しては、今年も告知活動にいっそう力を入れ、優秀な研究計画の応募につなげていけるような対処策を検討いたします。具体的には、募集要項の送付リストの見直しや、美術館公式サイトでの告知の強化、ガイダンスの一層の充実に取り組めます。

(4) アニメーション文化に関する普及啓発

① お話の会

図書閲覧室「トライホークス」では、子ども達に絵本の読み聞かせをする「お話の会」を、子供が多い週末を中心に引き続き開催します。

② 季刊「トライホークス」の発刊

様々な方面で活躍している方々のおすすめの本を紹介する『季刊トライホークス』を、今年度は、6月、9月、12月、3月の年4回発刊する予定です。

(5) アニメーション文化講座の開設

三鷹ネットワーク大学と協力して開催してきた「アニメーション文化講座」は、参加者から好評を得られ、一定の成果をあげてきました。今年度につきましても、高畑勲監督の協力を得ながら、引き続きアニメーションの普及啓発のために、有意義な企画を検討いたします。

(6) アニメーション関連展覧会への企画協力及び展示制作協力

下記展覧会には、制作協力として参加するとともに、当財団収蔵の作品資料を貸し出す予定です。

① 「ジブリの大博覧会」展

場所 長崎歴史文化博物館（長崎県）
会期 平成29年4月15日（土）～6月25日（日）

② 「スタジオジブリ・レイアウト」展

場所 山口県立美術館（山口県）
会期 平成29年4月20日（木）～6月18日（日）

場所 長崎県美術館（長崎県）
会期 平成29年7月15日（土）～9月3日（日）

- ③ 「近藤勝也」展
場所 新居浜市美術館（愛媛県）
会期 平成29年7月8日（土）～9月3日（日）
- ④ 「ジブリの立体建造物」展
場所 あべのハルカス美術館（大阪府）
会期 平成29年12月2日（土）～平成30年2月5日（月）

下記展覧会には、当財団収蔵の作品資料を貸し出します。

- 「近藤喜文」展
場所 福島さくら遊学舎（福島県）
会期 平成29年6月3日（土）～8月末日

(7) アニメーション映画のライブラリー事業

今期も、現時点で予定している新規公開作品はありませんが、過去作のライブラリー作品の上映依頼に対する配給業務を継続致します。

アードマンアニメーションズ作品「ひつじのショーン いたずらラマがやってきた！」(2015年/イギリス)のブルーレイディスク+DVDセットをウォルト・ディズニー・スタジオ・ジャパンより発売します(5月24日発売予定)。

3. 三鷹市の公の施設に係る指定管理者の指定を受けて行なうアニメーション美術館の管理運営（3号事業関係）

平成28年度に行われた改修工事における一年目点検を予定しており、是正が必要な場合は5月展示替え休館や11月のメンテナンス休館での作業を計画いたします。

そのほか、館内の快適性・安全性を確保し、美観にも配慮しながら、経年劣化の見られる箇所の補修等も計画、実施を引き続き行ないます。

ならびに、一年を通じて例年どおり、下記の管理運営を行ないます。

- ・美術館建物及び設備の日常的な維持管理・保守
- ・美術館建物及び敷地における日常的な清掃管理
- ・美術館建物及び敷地の植栽の維持管理・整備
- ・美術館建物及び敷地の病虫害駆除および防除作業
- ・美術館建物及び敷地内の常駐警備（警備会社に委託）

4. 三鷹市の委託を受けて行なうアニメーションに関する事業（4号事業関係）

三鷹市が開催するアニメーション関連事業の一環として、2018年3月に行なわれるアニメーション上映イベント「三鷹の森アニメフェスタ 2018」を、三鷹市より委託を受けて、共同主催という形で企画・運営致します。

5. 展覧会事業に付帯する図録その他の印刷物並びにアニメーション文化に関する出版物、映像及び音楽に関する製品の製作及び販売（5号事業関係）

常設展示、企画展示に関連した図録やその他の印刷物を制作し、アニメーション文化に関する出版物、映像および音楽に関する製品を販売致します。

6. その他この法人の目的を達成するために必要な事業（6号事業関係）

特別な事業等は予定していません。

以上

